

令和2年度 学校評価報告書【国立市立国立第二中学校】

学校教育目標	たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間豊かな生徒の育成をめざす 一、よく考え進んで学習する生徒 一、自らの心と体をきたえる生徒	重点目標	子どもたちの模範となり、丁寧に鍛え、成長率NO. 1をめざす ～鍛え・乗り越え・考え・成長する国立二中～
--------	--	------	---

学校教育目標	中期的目標	短期的目標	具体的な方策	評価指標	達成状況		分析	改善策	学校関係者評価
					中間評価	最終評価			
一一 自よ らく の考 えと 進 体ん で学 習え る生 徒	「学 習力 向上」 に取 り組 む育 成	学習指導の充実を図り、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。 「実感」のある学び	「基礎的な知識・技能」の習得 ・教材教具、ICTの活用 ・ねらいの明確な授業 ・1ページノートの推進等 「生徒主体の学習」の推進 ・基礎基本の定着 ・チャレンジする課題設定 ・問題解決型学習の活用 個に応じた学習支援と特別支援教育の推進 ・特別支援学級「A組」、特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と連携 ・放課後補習教室STEP	・学習調査における「習得」の項目で前年度以上 ・生徒による授業評価「分かりやすさ」の肯定評価80%以上	C	B	・必修科目の授業時数は年間で規程時数の93%程度になる予定である。家庭学習の支援や緩急を付けた授業進度でカバーしているところである。 ・授業では全教員が「単元名」「ねらい」「ながれ」の実行機能を用い、ねらいを明確に掲げ授業を進めている。	・校内研修を推進し、全教員で授業改善に取り組んでいく。特にICTの活用を進め、オンライン授業にも対応できるようにする。 ・今後進度を見ながら主体的・対話的に考える課題を有効に設定し、深く考える生徒の育成を図っていく。	・コロナの関係で授業時数が減ったようだが、時数の確保より、しっかりと学習内容が身につけているかが重要である。基礎学力がついていない生徒への支援をしっかりと願っている。 ・新学習指導要領に示されているような力をしっかりと身につけさせるよう授業の改善をお願いする。
一 思 い や り を も ち 協 力 す る 生 徒	「人 間力 向上」 を め ざ す 育 成	きめ細かな生活指導により生徒の規範意識を高めるとともに、教育活動全般を通じて心の教育の充実を努める。 「感謝」のある心	基本的生活習慣の確立 ・「生活規律改善計画」実施及び充実 ・「新しい学校生活様式」の定着 いじめ根絶と不登校対策の取組み ・ふれあい月間 ・スクールバディ(SB)の充実 ・教育支援委員会の充実 道徳教育の充実 ・生命尊重の教育 ・人権教育の推進 ・道徳授業の計画的実施	・挨拶の励行、手洗いの徹底 ・好感もてるみだしなみ ・時間と安全を意識した生活 ・保護者アンケート(12月)による肯定評価80%以上 ・いじめの未然防止、早期対応(学校風土尺度調査実施) ・スクールバディ(SB)の活動の充実(継続活動) ・SNS学校ルールの定着 ・教育支援委員会の活性化 ・道徳授業の確実な実施と指導法の工夫 ・評価の充実と研究 ・カリキュラムマネジメントによる道徳の活用	B	A	・生活規律を守り生活ができています。 ・新しい学校様式については、マスク着用はほぼ100%定着、「密にならないこと」は課題がある。	・新しい学校生活様式で、密にならない意識を教員・生徒共に徹底させていく。 ・小さな問題を逃さず適切に指導していく。不登校傾向にある生徒には初期対応を丁寧に行っていく。	・学校からクラスターが発生しなくて何よりだった。これからも感染症の予防をしっかりと行ってほしい。 ・臨時休業の影響で精神的に不安定になっているような生徒を把握し、しっかりとフォローをお願いします。地域も見守り、連携していきます。 ・道徳の授業は計画通り行ってほしい。今年度の道徳と美術の授業のコラボはとても良い企画だった。
一 正 し く 判 断 し 実 行 す る 生 徒	「生 活力 向上」 を 図 る 育 成	生徒主体の特別活動の充実を図り、互いの良さを認め合う生徒を育成する。 「感動」のある学び舎	学級経営、学年経営の充実 ・学校風土尺度調査の実施 ・特別支援教育への理解と連携 生徒会活動の充実、特別支援教育の理解と交流の充実 ・特別支援教育の理解と交流の充実 ・学校風土尺度調査の実施 総合的な学習・活動の充実	・各学級学年の経営目標の明確化 ・A組の円滑な運営と交流及び共同学習の推進 ・生徒の学級に対する肯定評価80%以上 ・生徒会(委員会)活動の充実 ・いじめ撲滅への生徒(会)主体の活動推進(SBとの連携) ・通常級とA組の交流の会を企画、実践	B	B	学校風土調査7月の結果は、「学校全体では全体的に平均より高くなっている、1、2年生が高い傾向にある」という分析が出ている。昨年度は平均より低い項目(安全・教えと学び・関係性・環境)が数項目に達して見られたが、今回は3年「教えと学び」(平均より-0.01)以外は平均以上の結果が出た。	・行事の少ない中で、いじめ防止等に注意しながら学級、学年経営を充実させていく。 ・スクールバディの活動を始動させる。 ・今後は校内清掃ボランティア等を企画予定である。 ・交流学习を無理のない範囲で積極的に進めていく。	・学校風土調査に関しては、数値が上がっているということですが、悪かった部分をしっかりと顧みて今後に生かしてください。 ・大きな行事がなくなってしまい非常に残念でした。今後行事が今まで通りにできないにしても、それに代わってできることを是非実施して生徒の思い出作りや成長につなげてほしい。

達成状況の指標 A:100%～80% B:79%～50% C:49%以下